

市政に関する 一般質問

29名の議員が
一般質問を行いました。
質問した議員が選んだ1問を
掲載しています。

会派名	議員氏名	中継映像の 2次元コード
一般質問の表題		
問	通告の要約	
答	答弁者	答弁の要約
問	通告事項の要約	

※ 2次元コードから各議員の中継映像がご覧いただけます



初雁自由政令会 **江 田 崇**
伊佐沼ハス復活で宿泊増を 2



問 5月1日のキャンプ場オープンから1カ月の利用割合は日帰り客が35%。宿泊客を増やすには、早朝に美しい花を咲かせるハスに期待が膨らむが、現在の育成状況は。

答産業観光部長 ハスの生育促進のために設置された一部の囲いにおいて、葉が水面上に育ち、囲いの外側に広がるなど着実に生育している。令和8年度は、ハスの保全と再生に取り組んでいる伊佐沼の蓮を咲かそう会により、ハスの生育に適した土壌づくりが行われ、良好な環境が整い、自生する苗も確認されている。なお、同会では、10年後を目途に、ハスが伊佐沼の北側一面に生育することを目指して再生に取り組んでいるとのことである。

問 ツーリズム拠点本格始動



初雁自由政令会 **牛 窪 喜 史**
部活動限定的な自転車通学 4



問 今後、土日や長期休業期間中など、部活動だけがある日の「限定的な自転車通学」を認定することへの考えは。

答学校教育部長 自転車は道路交通法では軽車両に当たり、通学の際には、事故のリスクや賠償責任が伴う。生徒の安全を守るためにも、ヘルメットの着用や保険への加入、定期的な安全点検など、学校が責任を持って管理・指導できる体制づくりが重要となる。したがって、限定的な自転車通学の認定については、生徒の安全確保が何よりも重要であり、限定的な許可をする場合は、安全管理上の課題、学校としての指導体制などを総合的に検討し、慎重に判断する必要があると考える。

問 中学校自転車使用の課題



川越未来の会 **加 藤 み な こ**
市街化調整区域の法令順守 1



問 本件について、法曹実務に携わっていた市長として、いつまでにどのような工程で解決まで進めていくのか。

答市長 市街化調整区域内の違反建築物について、市として、今の状況を容認できないという方針の下、監督処分の実施も念頭に、この問題の早期解決に全力で取り組んでいく。



問 市民安全の確保



初雁自由政令会 **小 林 範 子**
本川越駅前広場の暫定利用 3



問 本川越駅周辺のまちづくりについて、市と西武鉄道とが連携し検討・開発を進めるとのことだが、本川越駅前広場における暫定利用などは考えているのか伺いたい。

答産業観光部長 本川越駅周辺のまちづくりと併せて、本川越駅前広場の暫定利用について西武鉄道株式会社と協議を行う中で、7月25日と26日に開催予定の川越百万灯夏まつりで、昨年と同様、にぎわいを創出する広場活用を検討し、川越商工会議所も含めて調整を行っている。今後も広場の暫定活用について、西武鉄道株式会社および関係者と検討を進めていきたいと考えている。

問 快適で魅力ある観光環境



初雁自由政令会 **小 高 浩 行**
不登校対策で食と栄養啓発 5



問 不登校対策の一環として、川越市医師会などと連携しながら食と心のつながりや栄養の重要性を保護者に啓発することについて、教育長の見解を問う。

答教育長 不登校対策において、食も大きな役割を担っていると捉えている。不登校の児童生徒は、学校での給食の喫食機会が少なく、家庭における食事が一層重要であると認識している。今後の不登校対策においても、家庭への働き掛け、支援に対する保護者との共通理解を図るとともに、川越市医師会、歯科医師会などの関係各機関と協力しながら、教育委員会として具体的な啓発の方法について検討していく。

問 食事と栄養の情報発信

問 内水等の水害対策